



都市に、心を。

INDEX

- 01 ごあいさつ
- 03 特集
中期経営計画の進捗と今後の事業展開
- 05 事業ハイライト
- 07 株主の皆さまへ
サステナビリティ経営の推進
- 08 株主還元について
- 09 連結財務データ
- 10 コーポレートデータ



2024年11月期は 売上高・利益ともに過去最高を更新 税引前利益は期初計画を上回って着地

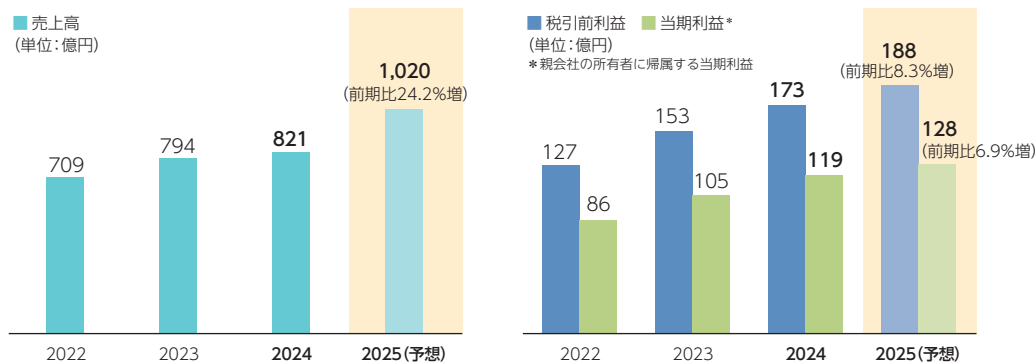
株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

トーセイグループは、“グローバルな発想を持つ心豊かなプロフェッショナル集団としてあらゆる不動産シーンにおいて新たな価値と感動を創造する”という企業理念のもと、総合不動産会社として、不動産の再生や開発、その他不動産関連ソリューションの提供などの幅広い事業を総合的に展開しています。

このたび終了した2024年11月期において、当社の主要マーケットである首都圏不動産投資市場は、良好な資金調達環境を背景に活発な取引が継続しました。また、不動産市況においては、回復が遅れていたオフィスの賃料が上昇に転じ、さらに、インバウンド顧客の増加を追い風にホテルの稼働が活況になるなど、堅調に推移しています。

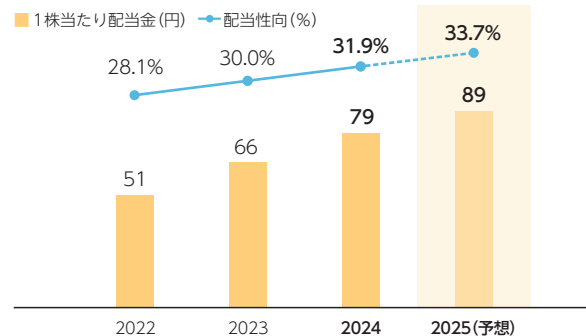
2024年11月期業績サマリーと2025年11月期業績予想

- 売買事業(再生・開発)やホテル事業が牽引し売上高は821億円(前期比3.5%増)、税引前利益は期初計画165億円を上回る173億円(同13.4%増)となり、**3期連続で過去最高**を更新しました。
- 2025年11月期も更なる進化に向けて事業を推進し、増収増益を目指します。



配当予想について

- **2024年11月期は、配当性向を31.9%に引き上げ**、1株当たり配当金は前期比+13円の79円となりました。
- 2025年11月期は、更なる利益成長と配当性向の引き上げにより、1株当たり配当金89円の予想としています。



中期経営計画「Further Evolution 2026」は好調なスタートを切りました。

一方で、長期化する建築費高騰や日銀の利上げの影響、国内外不動産プレイヤーにおける投資姿勢の変化など、不動産金融マーケットの動向については引き続き注視が必要であると考えています。

このような事業環境のなか、不動産再生事業および不動産開発事業においては、当社の強みである多様な不動産ソリューション力を活かして高い利益率での物件販売を実現したほか、ホテル事業においても旺盛なインバウンド需要を取り込み、期初計画を大きく上回る業績を達成することができました。また、成長事業である不動産ファンド・コンサルティング事業では、受託資産残高は2.4兆円超に拡大しました。2024年11月期は、**中期経営計画の初年度として好調なスタートを切ることができた**と考えています。

2025年11月期は、中期経営計画「Further Evolution 2026」の2年目となります。全事業の成長と進化に向けて各施策を実行していくとともに、引き続き、**事業を通じたサステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。**

事業面においては、将来の成長に向けた優良不動産やホテルの仕入に邁進するとともに、建築費高騰の影響を軽減すべく、価格上昇が比較的緩やかな木造賃貸アパート・戸建住宅などの開発を戦略的に進めてまいります。

また、トーセイグループの持続的な成長に向けた基盤づくりの面においては、DXを活用した業務効率化や人材育成に取り組むとともに、多様な社員が個性を活かして力を発揮できる環境の整備などを推進し、より強固な経営基盤を構築してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **山口 誠一郎**



事業

中期経営計画「Further Evolution 2026」初年度の取り組みの一部をご紹介します

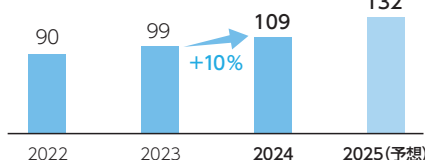
事業ポートフォリオの進化と成長に向けた取り組み

成長ドライバーである売買事業で高い利益成長を実現しました。

- トーセイの強みである目利き力と再生ノウハウ・開発力を活かして、安定的かつ高い利益成長を目指してまいります。

売買事業（再生・開発）の営業利益

（単位：億円）



建築費高騰が続くなか、RC造に比べて影響が緩やかな木造アパート・戸建の開発を強化しました。

- トーセイのアパート「T's Cuore」は、入居者さまにとって心地よい住まいづくりを目指しており、駅近で生活利便性の高い土地を中心に展開しています。



T's Cuore 浮間舟渡 I

非財務情報開示の取り組み

すべてのステークホルダーの皆さまに、当社グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについて理解を深めていただくため、**今期初めて統合報告書を発行しました。**

- 経営への思いや今後の成長への意気込みについて山口が語るトップメッセージや成長戦略などが掲載されています。
- 今後も継続して発行することで当社理解の促進を図ってまいります。



サステナビリティ

特集 中期経営計画の進捗と今後の事業展開

中期経営計画初年度の業績動向および事業環境の見通しを踏まえ、経営指標を見直し、利益計画を上方修正しました。
計画の実現に向けて各事業の更なる進化を図るとともに、事業を通じたサステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。

中期経営計画 「Further Evolution 2026」

大方針

サステナブルな社会の実現に貢献できる
独自性のある総合不動産会社として、
更なる進化を目指す

5つのテーマで基本方針を定め、各分野の取り組みを推進することで
経営指標の達成とともに、更なる進化を目指します。

財務戦略・資本政策

サステナビリティ

事業

DX

人材・組織

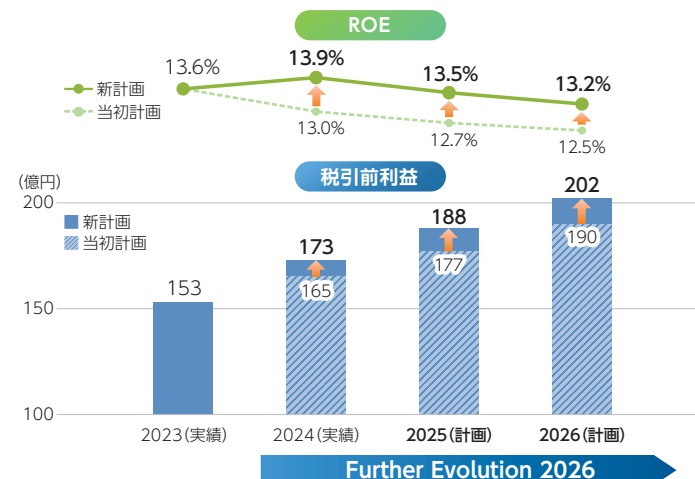
経営指標の見直し

修正箇所：黄字

	当初計画			新計画		
	FY2024	FY2025	FY2026	FY2024実績	FY2025	FY2026
売上高	921億円	1,178億円	1,232億円	821億円	1,020億円	1,230億円
税引前利益	165億円	177億円	190億円	173億円	188億円	202億円
ROE	13.0%	12.7%	12.5%	13.9%	13.5%	13.2%
		12%以上			13%以上	
安定事業比率		45%以上		50.5%	45%以上	
自己資本比率		35%程度		32.7%	35%程度	
ネットD/Eレシオ		1.4倍程度		1.45倍	1.4倍程度	
配当性向	31.5%	33.0%	35.0%	31.9%	33.7%	35.0%

POINT 利益計画の上方修正とROE目標の引き上げ

- 売買事業およびホテル事業の収益力向上などを踏まえ、税引前利益の計画を上方修正しました。事業成長により生まれた利益は、株主の皆さまに安定的に還元してまいります。
- 財務健全性維持と資本収益性向上の両立を目指し、ROE目標を13%以上に引き上げました。



名古屋鉄道株式会社との共同プロジェクトがスタート

2024年5月に、名古屋鉄道株式会社と資本業務提携契約を締結し、このたび、コラボ案件の第1弾として、当社が運営する不動産クラウドファンディングにおいて、名鉄グループ保有物件を取り扱う商品を立ち上げました。引き続き、シナジーを発揮できる共同案件を推進し、両社の企業価値の最大化を図ってまいります。

T O S E I



MEITETSU Group

TREC FUNDING でのコラボレーション

トーセイの不動産テックノウハウと、名鉄グループの優良アセットを組み合わせた初の共同案件

トーセイの不動産クラウドファンディング TREC12号 <名鉄コラボ> 名古屋市中区マンションファンド

物件種別	1棟収益マンション
物件所在	愛知県名古屋市中区
ファンド総額	5.2億円
予定分配率(年率)	6.5%
予定運用期間	2年

※現在は募集を終了しています。



「TREC FUNDING」とは？

「TREC FUNDING」とはトーセイが提供する不動産クラウドファンディングサービスです。不動産クラウドファンディングとは、不動産特定共同事業法に基づく新しい不動産投資の手法であり、現物不動産投資やJ-REITと比較して、「1口1万円といった少額から始められる」「価格変動性が低い」という特徴があります。

●「TREC FUNDING」の仕組み

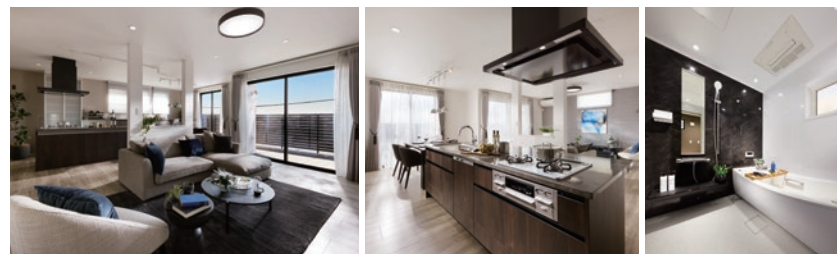


高級分譲住宅の取り扱いを開始

トーセイの戸建ブランド「THE パームスコート」シリーズに、高級分譲住宅のラインアップが加わりました。建築費高騰により都心の住宅価格も上昇傾向にはありますが、環境にやさしく、お客さまに満足いただける住まいづくりを目指してまいります。



THE パームスコート田園調布

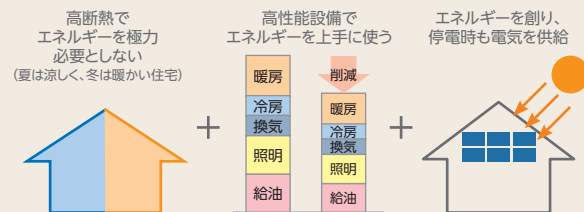


建築企画・企画販売担当

トーセイ第1号の高級分譲住宅である「THE パームスコート田園調布」は、快適性を追求した仕様が大変好評であった物件です。

当物件では、ブランドコンセプトである“家族や人のつながり”を意識した間取りや住み心地を追求した設計を採用しました。さらに、ZEH基準の環境に配慮した住宅という点も特徴のひとつです。外観は、重厚感のあるデザインとし、内部は、約40坪3LDKと、パームスコートの中でもかなり広々とした設計となっています。また、アイランドキッチンやダブルボウルの洗面化粧台など住宅設備にもこだわっており、高級感あふれる仕様で仕上げました。

THE パームスコート田園調布は「ZEH」認定住宅です。



連結業績

売上高

821.9 億円

前期比 **3.5%増** ↗

営業利益

184.8 億円

前期比 **13.7%増** ↗

税引前利益

173.6 億円

前期比 **13.4%増** ↗

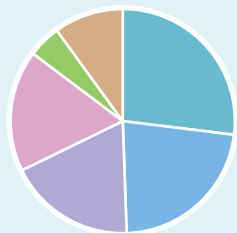
当期利益*

119.8 億円

前期比 **14.1%増** ↗

*親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益構成比



- 不動産再生事業
- 不動産開発事業
- 不動産賃貸事業
- 不動産ファンド・コンサルティング事業
- 不動産管理事業
- ホテル事業



不動産再生事業

営業利益構成比

27.0%

中古の不動産を取得し、安全性・快適性・環境配慮を意識した改修や稼働率向上などのバリューアップを実施した「再生不動産」を販売する事業です。

売上高 **372.2** 億円

前期比 **21.7%減** ↘

営業利益 **59.6** 億円

前期比 **32.8%減** ↘

- ◆ 販売好調ながら、開発事業が大きく伸長したため、戦略的に一部物件の販売計画を翌期以降に変更
- ◆ バリューアップを施した1棟不動産40件を販売、うち2件はスポンサーとしてトーセイ・リート投資法人へ販売
- ◆ 中古区分マンション110戸を販売

販売物件の事例



世田谷区 空オフィス



横浜市 収益マンション



新宿区 複合施設



不動産開発事業

営業利益構成比

22.5%

開発用地を取得し、エリア特性やニーズに合わせて、オフィス・マンション・戸建住宅・商業施設・ホテル・物流施設などの新築開発を行い、販売する事業です。特に、分譲マンション、戸建住宅の開発では、SDGsへの貢献を意識した設備仕様を導入し、人にも地球にもやさしい住まいづくりを目指しています。

売上高 **166.5** 億円

前期比 **129.9%増** ↗

営業利益 **49.6** 億円

前期比 **378.9%増** ↗

- ◆ 自社開発物流施設「T's Logi青梅」、同商業施設「T'S BRIGHTIA自由が丘」を販売
- ◆ 建築費高騰等を受けて開発を強化した木造賃貸アパート2棟を販売
- ◆ 分譲戸建・土地等については、高級戸建を含む全32戸を販売

販売物件の事例



T's Logi 青梅
(物流施設)



T's Cuore 椎名町
(木造賃貸アパート)



THE パームコート上戸買
(分譲戸建)



不動産ファンド・コンサルティング事業

営業利益構成比

17.3%

国内外の投資家から不動産ファンドの資産管理（AM）業務を受託し、不動産の運用管理を行う事業です。また、一般事業会社に対する不動産コンサルティングや不動産仲介などのサービスも行っています。

売上高 **68.6** 億円
前期比 7.1% 減

営業利益 **38.2** 億円
前期比 16.1% 減

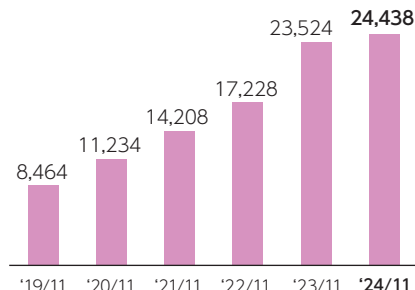
◆ 前期の大型案件受注の反動により減収減益となったものの、受託資産残高は2兆4,438億円まで伸長

◆ トーセイの不動産クラウドファンディング「TREC FUNDING」は累計10ファンドまで積み上げ

◆ ODX*が運営する日本初のセキュリティ・トークン（ST）取引市場「START」にてトーセイの不動産を裏付けとしたSTの取り扱いが開始

*ODX：大阪デジタルエクスチェンジ株式会社

受託資産残高（単位：億円）



不動産管理事業

営業利益構成比

4.7%

オフィス・マンション・ホテルなどの建物・設備管理、保安警備、テナント管理・リーシングなど、総合的なプロパティマネジメントを行う事業です。

売上高 **86.4** 億円
前期比 10.9% 増

営業利益 **10.3** 億円
前期比 27.7% 増

◆ 事業承継支援案件として、事業会社の管理事業を引き継いだことなどにより、管理受託棟数は963棟まで伸長

◆ オフィス・マンションに加え、物流施設や商業施設、ホテルなど幅広いアセットタイプの管理を受託



不動産賃貸事業

営業利益構成比

18.5%

首都圏を中心に、当社グループが所有するオフィスビルやマンションなどを賃貸し、安定的な収入を得る事業です。

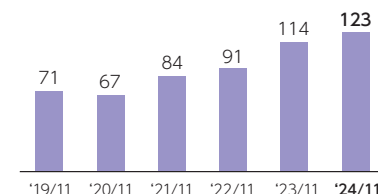
売上高 **82.0** 億円
前期比 20.3% 増

営業利益 **40.8** 億円
前期比 26.4% 増

◆ M&A（事業承継支援を含む）により取得した物件が追加され、保有賃貸物件は123棟へ増加

◆ 高利回り物件の寄与や棚卸資産の販売時期見直しによって保有期間が延長したことにより賃貸収入が増加

当社保有賃貸物件の推移（単位：棟）



ホテル事業

営業利益構成比

10.0%

東京都区部を中心にホテルを保有し、運営収入や賃貸収入を得る事業です。

売上高 **63.2** 億円
前期比 51.4% 増

営業利益 **22.0** 億円
前期比 122.8% 増

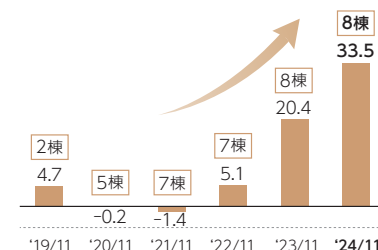
◆ 平均客室単価（ADR）・稼働率が好調に推移し、売上・利益ともに過去最高を更新

◆ ホテル運営の重要な利益指標であるGOP（ホテルの売上総利益から運営経費を差し引いたもの）は33.5億円（前期比63.9%増）と好調に推移

GOP推移（単位：億円）

□：運営ホテル棟数

コロナショックからの回復・事業成長



（注）各事業セグメントの売上高にはセグメント間取引が含まれています。

株主の皆さまへ サステナビリティ経営の推進

トーセイグループは、あらゆるステークホルダーの皆さまにとって存在価値のある企業であり続けられるようサステナビリティ経営の実践に努めています。当社のサステナビリティ経営におけるE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)に関する当期の取り組みをご紹介します。

E 環境への取り組み

- ▶ 国内機関投資家から出資を受け、省エネ改修を行い、建物が排出する温室効果ガス(GHG)の削減を目指す「Green × Value UPLレジファンド」に第2弾物件を組み入れ

本ファンドへの物件組み入れ後の流れ

中古賃貸マンション取得



※ファンド組入物件第2弾

再生ノウハウを活かした省エネ改修



太陽光パネルの設置
LED照明へ取り換え など

環境負荷低減
資産価値向上



建物全体での
GHG排出量
30%超削減を目指す

- ▶ 保有物件におけるBELS(建築物省エネルギー性能表示制度)取得



江戸川橋
トーセイビル
(BELS5つ星)



この建物のエネルギー消費量が42%削減
2024年10月1日現在、東京23区内で最も省エネなビル



中野坂上
トーセイビル
(BELS3つ星)



この建物のエネルギー消費量が25%削減
2024年10月1日現在、東京23区内で最も省エネなビル

S 社会への取り組み

- ▶ 葛西海浜公園における漂着ゴミの清掃イベントに参加

当社は本イベントに2009年から毎年参加をしており、今年は有志53名がゴミ袋6袋分(約270ℓ)のごみを収集しました。



漂着ゴミの清掃イベント

- ▶ 多様な人材が健やかに働ける職場環境に向けた取り組み

当社は、社員が個性を活かして健やかに働ける職場環境を目指し、環境整備や健康増進に取り組んでいます。具体的には以下のような取り組みを行っています。

- フレックス制度導入 ●サテライトオフィス導入
- リラクゼーションセミナー開催 ●仕出し弁当導入 など



リラクゼーションセミナー

外部評価

2023年に続き「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。



G ガバナンスへの取り組み

- ▶ 取締役の任期を2年から1年へ短縮

取締役の経営責任をより明確にし、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制を構築するため、取締役の任期を短縮しました。

当社取締役会の構成



取締役
9名

社外取締役
男性2名
女性1名



2024年2月より、石渡真維氏が当社初の女性社外取締役として就任しました。

- ▶ 譲渡制限付株式報酬制度の導入

取締役の報酬と会社業績・株式価値を連動させることで、企業価値の持続的向上を目指すインセンティブとなっています。さらに、当制度を通して、株主の皆さまとの価値共有も促進してまいります。

役員(業務執行取締役)報酬の構成

固定報酬 約60%	業績連動報酬 約40%	+ストック オプション
--------------	----------------	----------------

- ・業績評価報酬
- ・業績連動役員賞与
- ・譲渡制限付株式報酬

NEW

株主還元について

株主還元

■ 株主優待

株主さまの当社株式保有状況に応じて、以下の優待品を贈呈いたします。

保有 株式数	継続保有期間	優待内容	
		オリジナルQUOカード	ホテル宿泊割引券
1単位 (100株) 以上	1年未満	—	3,000円分
	1年以上2年未満	1,000円分	
	2年以上5年未満	2,000円分	
	5年以上	3,000円分	

(毎年11月30日を基準日として年1回実施。発送は2月下旬頃となります。)



■ 配当金のご案内

2024年11月期(期末) **79円**

2023年11月期(期末) 66円

2022年11月期(期末) 51円

ホテル宿泊割引券をご利用いただけるトーセイホテルのご紹介 (2025年2月現在)



- ドリンクサービス
- カフェ・レストラン
- マンガコーナー
- 大浴場
- サウナ
- フィットネスルーム
- ルーフテラス
- 会議室・セミナー・研修設備
- ラウンジ

TOSEI HOTEL COCONE

<https://tosei-hotel.co.jp/>

TOSEI HOTEL&SEMINAR

<https://tosei-hotelseminar.co.jp/makuhari/>

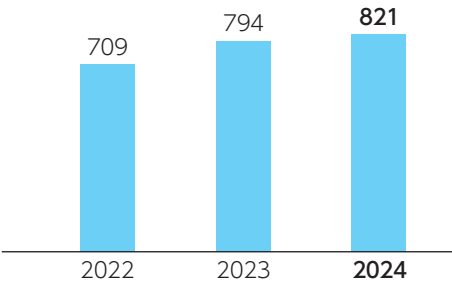
● ホテル宿泊割引券のご利用方法

トーセイホテル公式サイト、もしくはお電話にて直接ご予約ください。宿泊割引券は、ホテルでご精算の際にご利用いただけます。また、1回当たりの宿泊割引券の使用枚数に制限はございません。この他の条件やご注意事項は宿泊割引券に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

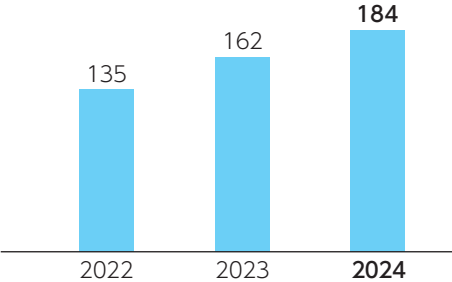
(注) ホテル宿泊割引券の使用期間は発行年の3月1日から翌年の2月末日までの1年間です(予約日ではなく実際のご利用日となります)。

● 包括利益計算書 (損益計算書)

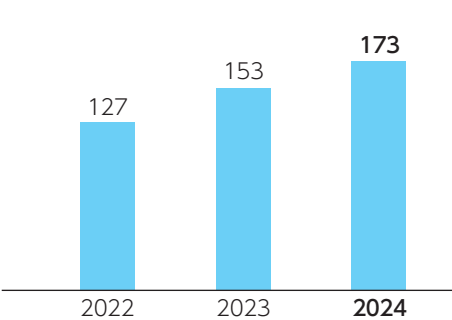
売上高の推移 (単位: 億円)



営業利益の推移 (単位: 億円)

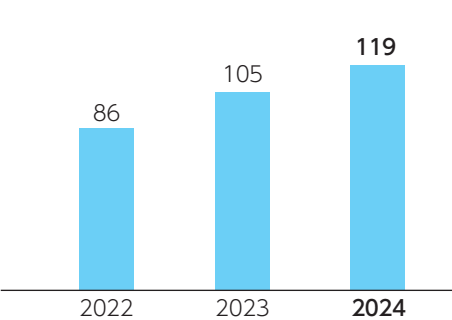


税引前利益の推移 (単位: 億円)



当期利益*の推移 (単位: 億円)

*親会社の所有者に帰属する当期利益

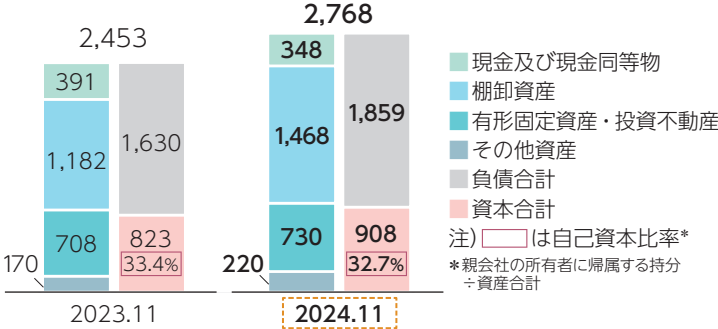


● 経営指標

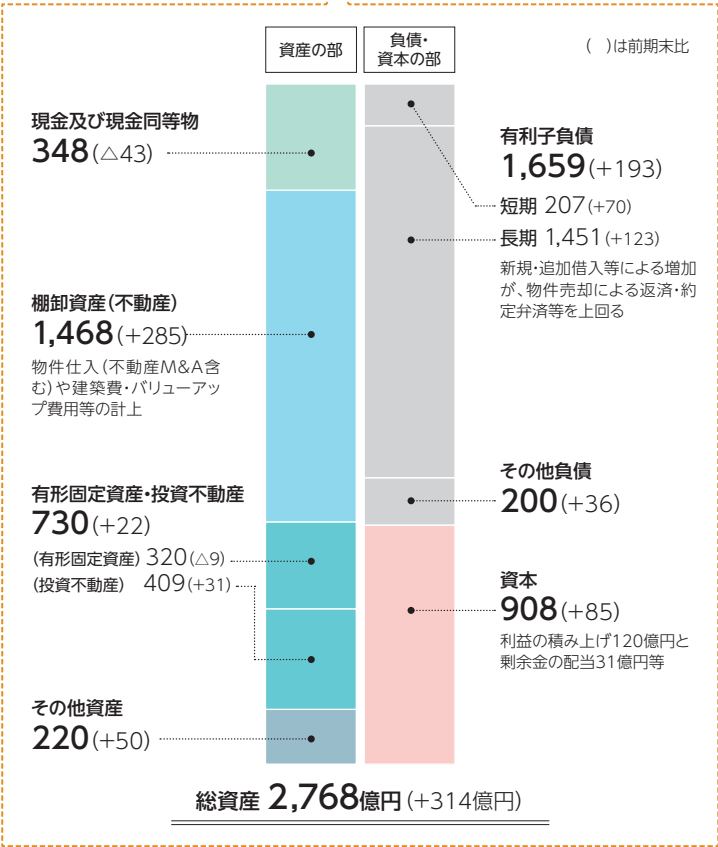
	2022	2023	2024
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE) (%)	12.5	13.6	13.9
資産合計税引前利益率 (ROA) (%)	6.3	6.7	6.7
基本的 1 株当たり当期利益 (EPS) (円)	181	219	247
1 株当たり親会社所有者帰属持分 (BPS) (円)	1,529	1,695	1,867
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率) (%)	34.3	33.4	32.7
ネットD/Eレシオ (倍) *	1.29	1.31	1.45
安定事業比率 (営業利益ベース) (%)	43.0	49.2	50.5

* ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金及び現金同等物)÷当期末親会社の所有者に帰属する持分
(注) 当社では不動産賃貸事業、不動産ファンド・コンサルティング事業、不動産管理事業、ホテル事業を「安定事業」と位置づけています。

● 財政状態計算書 (貸借対照表) (単位: 億円)



注) は自己資本比率*
*親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 資産合計



コーポレートデータ (2024年11月30日現在)

●会社概要

商号	トーセイ株式会社
代表者	山口 誠一郎
設立	1950年2月2日
所在地	東京都港区芝浦4丁目5番4号
資本金	6,624,890千円
上場金融 商品取引所	東京証券取引所市場プライム市場(証券コード:8923) シンガポール証券取引所メインボード(証券コード:S2D)
従業員	282名(連結809名) (嘱託・パート社員含む 1,026名)
事業内容	不動産再生事業、不動産開発事業、不動産賃貸 事業、不動産ファンド・コンサルティング事業、 不動産管理事業、ホテル事業
主要な 関連会社	トーセイ・コミュニティ株式会社 トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社 トーセイ・ロジ・マネジメント株式会社 トーセイ・ホテル・マネジメント株式会社 トーセイ・ホテル・サービス株式会社 株式会社プリンセス スクウェアー Tosei Singapore Pte. Ltd.

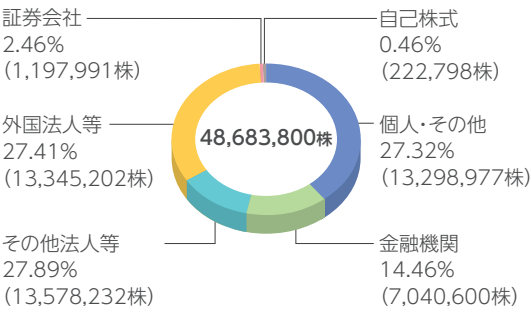
●役員 (2025年3月1日時点)

代表取締役社長 執行役員社長	山口 誠一郎
取締役専務執行役員	平野 昇
取締役専務執行役員	中西 秀樹
取締役常務執行役員	山口 俊介
取締役常務執行役員	米田 浩康
取締役執行役員	高見 茂宏
社外取締役	少徳 健一
社外取締役	小林 博之
社外取締役	石渡 真維
常勤監査役	八木 仁志
常勤監査役	黒田 俊典
非常勤監査役	永野 竜樹
非常勤監査役	池田 聡
常務執行役員	渡辺 政明
常務執行役員	大島 均
常務執行役員	藤原 宣人
常務執行役員	西本 亮司
執行役員	小佐々 大造
執行役員	塩飽 諭之

●株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,683,800株
株主数	26,910名

●所有者別株式分布状況



●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
名古屋鉄道株式会社	7,500,100	15.47
有限会社ゼウスカピタル	6,000,000	12.38
山口 誠一郎	5,385,400	11.11
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	4,321,100	8.91
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,795,200	3.70
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,647,257	3.39
出口 博俊	1,030,000	2.12
きらぼしキャピタル東京Sparkle 投資事業有限責任組合	1,000,000	2.06
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHER FUND	931,100	1.92
SMBC日興証券株式会社	904,647	1.86

*持株比率は、自己株式(222,798株)を控除し、小数点以下第3位を切り捨てて算出しております。

株主メモ

事業年度	12月1日から11月30日まで
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
剰余金の 配当の基準日	5月31日、11月30日
単元株式数	100株
株主名簿 管理人 事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 (https://www.toseicorp.co.jp/ir/publicity/) ただし、電子公告によることができない事故 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載して行います。

連絡先・電話お問い合わせ先・ご注意

証券会社に 口座をお持ちの 場合	お取引の証券会社になります。 ご注意: 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信 託銀行本支店でお支払いいたします。
特別口座の 場合	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル) ご注意: 株式売買はできません。

T O S E I

都市に、心を。



東京証券取引所プライム市場
(証券コード：8923)



シンガポール証券取引所メインボード
(証券コード：S2D)



トーセイ・リート投資法人
(証券コード：3451) ※
※トーセイ・アセット・アドバイザーズが
資産運用を受託する投資法人

NEW

ホームページ リニューアルのお知らせ

個人投資家の皆さまへ向けたページも
アップデートしておりますのでぜひご覧ください。

<https://www.toseicorp.co.jp/>

検索 トーセイ 不動産



NEW

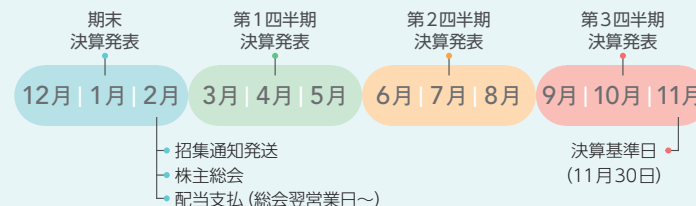
「統合報告書2024」 発行のお知らせ

アンケートも設置していますのでぜひご一読の上、
ご意見・感想をお送りください。

<https://www.toseicorp.co.jp/ir/irlibrary/integratedreport/>



● IR カレンダー



● 株主さまアンケートご協力のお願い

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の参考とさせていただくため、
webアンケートを実施いたします。ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

<https://toseicorp.co/toseireport20244Q>



実施期間：2025年3月31日まで
ご回答いただいた方の中から抽選で50名様に
薄謝 (QUOカード500円) を進呈させていただきます。
※ご応募には株主番号が必要となります。